

人のうごき

平成24年2月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

伊勢田 壮史 ^{そうし} くん	(純史・実里)	南町
上梨 冬真 ^{とうま} くん	(修・美樹)	寿町
有野 夕璃 ^{ゆり} ちゃん	(直倫・絵美)	築別

ごけっこん

野田 隼人 ^{はやと} さん	八代 悠 ^{ゆう} さん	港町
松平 敏行 ^{としゆき} さん	吉田 聖美 ^{せいみ} さん	南5の1
鎌田 伸司 ^{のぶし} さん	山本 征子 ^{せいこ} さん	南町

おくやみ

南部 芳雄 ^{よしお} さん	96歳	北5の2
池田 誠良 ^{まこと} さん	84歳	幸町
瀧口 秀男 ^{ひでお} さん	76歳	南町
浦谷 一雄 ^{かずお} さん	87歳	栄町
開発 津由 ^{つゆ} さん	93歳	栄町
小笠原 栄喜 ^{えいき} さん	77歳	栄町
工藤 茂美 ^{しげみ} さん	57歳	栄町
葛西 一壽 ^{かずと} さん	68歳	寿町
小林 正勝 ^{まさかつ} さん	82歳	天売



岩崎 幸治^{こうじ}さん(41才) 留美^{るみ}さん(42才)
朝日^{あさひ}さん(中1) 南2の1

家族みんなで
オロロン太鼓の音を
大きく響かせたい

「太鼓を一緒にやっていて、一緒にいる時間が長いぶん家族の仲はいいかな」そう語るのは、家族3人でオロロン太鼓をたたいて、10年以上になるといふ岩崎さんご一家です。

今年度の町文化協会「フアミリー賞」を受賞されました。お母さんのお腹でも太鼓を聴いて育ったという、朝日さんは、全身を使って太鼓をたたき、動きが大きい演奏が好き。やっていて、すごく気持ちがいい。家族で太鼓をやるのは楽しい」と言い、練習をがんばってやっていい演奏ができて、みんなに喜んでもらえるとうれしいとさわやか。

幸治さんと留美さんは「最近少し落ち着きましたけど、太鼓のことで、意見の衝突もしょっちゅうでした。答えがない中で、アイデアを出し合って、演奏を創っていくので、喧嘩ではないですけどね。」と笑顔で言います。

太鼓の指導者でもある幸治さんは、町内のイベントも大事にして、他の町へも出かけて交流することで、太鼓の世界を広げたい「伝統の音を守りつつも、新しい創作も取り入れていきたい」と、今後の抱負を語ってくれました。

「新メンバー募集中です！」とも強調。オロロン太鼓は、今年、創立40周年を迎えます。

編集後記

観光協会がこのほど考案した新キャラクター。みなさんご覧になりましたか。オロロン鳥をモチーフに漁獲量日本一の甘エビの帽子を被った羽幌ならではイメージで、これから各種イベントで羽幌町のPR役を務めます。

まだ名前がないということですが、誰からも親しまれるご当地キャラとして応援する意味でも、地元に住むみなさんの斬新なアイデアに期待したいところです。

応募は3月13日まで。せっかくの機会なので応募してみてはいかがですか。私も自信はありませんが考えてみようと思います。詳しくは観光協会ホームページを確認を。(Y)

人口と世帯数(2月末)

人口	8,011人	(-13)
男	3,795人	(-7)
女	4,216人	(-6)
世帯数	3,858世帯	(-5)
	()	は前月比

